

## 2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 27 日作成)

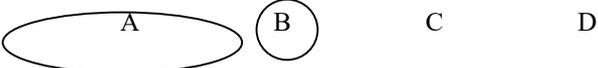
小委員会名	環境振動測定分析小委員会		主 査 名：尻無濱昭三 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境振動運営委員会)		委員長名：秋元 孝之 主 査 名：松本 泰尚
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度：2018 年度に刊行された「建築物の振動に関する居住性能評価規準」で評価するための振動測定・分析方法に関して整理し、既存の実測データの分析や共同実験などによる測定・分析を行い、その検証方法などを検討する。また、前小委員会の資料作成 WG による「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」についての意見を収集する。</li> <li>・2 年度～3 年度：初年度に決めた新基準の検証方法を実施する。具体的には、小委員会として環境振動測定したデータの再分析や新たな環境振動実験を実施し、測定方法、分析方法等について検討を行う。また、新しい知見などは建築学会大会などで公表する。また、測定分析に関する資料に対する意見を整理し、ブラッシュアップする。</li> <li>・4 年度：3 年分の活動成果を整理し、評価基準の検証結果も織り込んだ「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」の改定に向けた準備を行う。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：尻無濱昭三 (鉄建建設) 幹事：平光厚雄 (国土技術政策総合研究所)、神谷俊行 (ベネック振動音響研究所) 委員：足立大 (リオン)、石田理永 (石田振動環境研究室)、小谷朋央貴 (フジタ)、佐野泰之 (愛知工業大学)、清水克将 (鉄道総合技術研究所)、田中彩 (鹿島建設)、原田浩之 (三井住友建設)、平松和嗣 (フリーランス)、松田貫 (BL 建設)、森川和彦 (清水建設)、藪下満 (YAB 建築・音響設計)、横島潤紀 (神奈川県)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2021 年度予算	51,000 円	ホームページ公開の有無：有 (運営委員会 HP の一部) 委員会 HP アドレス： <a href="https://www.ajj.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc10-12.html">https://www.ajj.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc10-12.html</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予定回数の委員会開催に到らなかったが、4回（計画含む）の小委員会を開催することができた。</li> <li>2. 前小委員会の成果「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」の一般公開化を実施した。</li> <li>3. 外部ストレージサーバーを利用した測定データ共有化を試行した。</li> </ol>
<p><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナ感染防止の観点から、小委員会メンバーが集まった新たな振動測定が出来ない。</li> <li>2. 学会の委員会オンラインストレージは、データ容量の関係から過去の測定データが保管管理できない。</li> </ol>

## 2021 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルスの影響もあつたが、年度計画の 5 回に対して、4 回（計画含む）の小委員会を開催することができた。</li> <li>2. 新型コロナ感染防止の観点から、小委員会メンバー合同による振動測定等については来期以降へ延期した。</li> <li>3. 外部クラウドサーバーを利用して、過去の測定データの共有化を図った。</li> <li>4. 前小委員会の活動成果物「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」を一般公開化（学会会員以外の閲覧可）した。</li> <li>5. 小委員会活動成果について外部に報告・投稿することが出来なかったが、過去の測定データを利用した新規準等に関する議論を進めた。</li> </ol>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。